

平成20年9月26日

習志野市長 荒木 勇 様

習志野市こども園整備・市立幼保再編検討委員会

会長 櫻井 慶一

東習志野こども園の検証及び（仮称）杉の子こども園の整備についての中間報告

本委員会はこども園整備と既存市立幼稚園および市立保育所の再編計画にかかる事項について、8回にわたる会議を開催し議論を重ねてきた。本日、中間的にこれまでの議論についてまとめたので下記のとおり報告する。

記

1 東習志野こども園の運営の検証について

東習志野こども園の運営の検証については、認定こども園の第三者評価が確定していないなかで、本委員会独自の方法で総合的にかつ慎重に評価した。その内容については別紙1「東習志野こども園にかかる保護者評価と園職員による自己評価」のとおりである。

評価は総じて良いものであったと総括された。こども園ができてあまり時間が経過していない中で、施設の管理や安全面では不満・不安はあるが、子どもの成長に合わせた合同保育やカリキュラムの作成などについては、職員は試行錯誤を重ね日々保育にあたっており、保護者からはそれなりに高い評価を受けていた。客観的に見て、この評価は短期間の中でこども園としてかなりの努力があったからこそその数値と受けとめられ、良く頑張っていると感じられた。しかし、全ての面で満足を得られるものではなく、施設の安全性の確保や子どもの保育のあり方など改善すべきものについては、ただちに取り組むという姿勢をもって更なる努力を求めたい。

なお、今後の留意点は別紙2「東習志野こども園の評価における全体的な意見」のとおりである。

2 上記以外の今後のこども園の整備にも関連しての議論は以下の別紙3のとおりである。習志野市においてはその留意点について今後十分に配慮されたい。